

# かがやき

令和5年 12月22日(金)  
多摩市立連光寺小学校  
特別支援教室 かがやき学級  
学級通信 NO. 12

## 子供たちの「成長」・その「道のり」に思う

1年生から6年生まで、学年をまたいでかがやきに来ている子供たちと授業を行っている子供たちの「成長」していく姿がより俯瞰した形で見えることがあります。もちろん個々の子供の事情や特性は異なるので一概に言えるものではありませんが、日々言葉を交わして時に遊び、学び「ドタバタドタバタ」していく中で個々の成長の道筋が見えてくる場合があります。

先日、かがやき教室でかがやきに在籍した卒業生数人と簡単な報告会を企画しました。小学校を卒業した後の中学校の様子を聞きたいということもあり、数名の都合のつく子が「かがやき」に集まってくれました。中学校での生活や学習。友達とのこと。部活動、中学校の先生のこと。「本当に大変なんだから!」「あの先生は厳しいね」「試験はまじやばい」等々。卒業して半年間の時間で経験し、学んだ体験談にかがやき教員全員で耳を傾けていきました。ひとしきり話が進み、雑団タイムに入ったとき、A君がおもむろに「ちょっといいですか」と声をかけてきました。その場から少し離れたところで「どうしたの?」と聞き返すと、少し気恥し気に「ぼく、今将来の目標があるんです。」と話をしてきました。こちらが改めてなんだろうと少し姿勢を整えて聞く気持ちを切り替えました。そしてA君は自分の目標について語ってくれました。以下、簡単にやりとりを紹介します。

A君「ぼく、将来教育の仕事につきたいんです。」

教員S「????????!」「教育の仕事って学校の先生ってこと?」

A君「そうです!」

教員S「びっくりした!すごいじゃん!」「でもどうして?…」

A君は「自分の小学校時代、本当にいろいろあったじゃないですか。」と前置きし、いろいろあった中で自分は多くの人に助けられたこと。また、そのことで自分が成長することができたこと、自分なりに変わることができてきたことについて話してくれました。(無論、こうした成長はA君本人の頑張りやA君を支えてくれたご家庭の支援があったればのことでもあります。)そして学校の先生でも特に小学校の先生になりたい気持ちが強いと続けました。大人びた発言もするA君だったので勝手に中学校の先生というイメージがこちらにもあり、そのことにも聞いてみました。すると「自分も体験したから感じるんですけど、やっぱり人が成長していく土台を作るのは小学校かなと思うんです。だからかな。小学校の先生になって自分が助けられたように助けることができたらなあと思うんです。」まるで高校生と話しているような話の展開に驚きましたが、A君のはっきりとした回答でした。そして実際に彼が「かがやき」に在籍し、本当に「いろいろ」なことを乗り越えてきたことを考えると、「成長していくこととはこうしたことなのかなあ…」という気持ちでいっぱいになりました。同時に子供の成長過程は短い時間の中では見えないものが本当に多くあることを教えてもらった気がしました。もちろんA君がこの先教職に向けての道をまっすぐ進んでいくかは誰にもわかりません。(もちろんA君の希望が叶うよう応援したいです。)ただ、中学生となった彼が、十代のこの時期にこうした「自己を振り返っての思い」をもったということに大きな意味があると思いました。在学時、日々「ドタバタいろいろ」に指導していた時には見えなかった成長と、その道のりに少なからずの感動を覚えた今回の同窓会となりました。

## かがやき「3R」

令和5年の年末を迎えます。世間に目を向けて振り返れば今年も良いこと、悪いことがあり、現在進行形で続いている多くの課題があります。しかし、それでも日々が続いていきます。指導の中で子供たちに「0か100ではなく、柔軟に考えよう」「前向きに考えよう」と話をすることがあります。「今より良いことがあるかもしれない。」「大丈夫!何とかしていこう。」「リカバー(回復する)、リトライ(もう一度試みる)、レジリエンス(乗り越えて回復する。)、かがやき標語の「3R。」そんな気持ちを大切に新しい年を迎えていければと思います。本年の支援教室へのご理解とご協力ありがとうございました。良いお年をお迎えください。

